

別記様式第7

①

ハロゲン化物消火設備試験結果報告書				
		試験実施日	年 月 日	
		試験実施者		
		住所		
		氏名	印	
設置場所	設置階	防護対象物の種別		
放出方式	固定式	全域放出方式 局所放出方式	設計放出時間 sec	
	移動式		設計放出時間 sec	
試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外観試験	貯蔵消火剤等	種別	量 kg	
		設置場所等	設置場所	—
			表示・標識	—
	機 器	貯蔵容器	—	MPa
		蓄圧値 (蓄圧式に限る。)	—	MPa
		充てん比	—	
		容器弁	—	
		容器弁開放装置	—	
	加圧用ガス容器	設置場所等		
		機 器	加圧容器	—
			安全装置・容器弁	—
	加圧用ガス	種 別	—	
		ガ ス 量	—	kg
	起動用ガス容器	設置場所等		
		機 器	構造等	—
		容器弁	—	

ハロゲン化物消火設備

②

試験項目			種別・容量等の内容	結果
選択弁	設置場所等	設置場所	—	
		表 示	—	
	機 器	導管接続部	—	
		構造	—	
外観試験	起動装置	手動起動装置	設置場所	—
			設置位置	—
			設置高さ	床面からの高さ m
			設備表示	—
			取扱表示	—
	機 器	塗 色 等	—	
		防 護 措 置	—	
		表 示 灯	—	
		ス イ ッ チ	—	
警報装置	自動起動装置	設置場所等	—	
		機 器	手動・自動切替装置	—
			構造等	—
		感 知 器	—	
	機 器	設置位置	—	
		警 報 方 式	—	
音声再生装置の設置場所			—	
	構造・性能	—		
制御装置	機 器 等	設置場所等	—	
		制 御 盤	—	
		表示灯・スイッチ類	—	
		防 護 措 置	—	
		遅 延 装 置	—	
		自動・手動起動切替装置	—	
配管・バルブ類	設置状況		—	
	配 管 系 路		—	
	操 作 管 ・ 逆 止 弁		—	
	構 造 ・ 材 質		—	
	口 径 ・ 使 用 数 等		—	

試 験 項 目		種別・容量等の内容	結果		
外 観 試 験	安全装置	—			
	噴射ヘッド	設置位置等			
		構造・性能	—		
	防護区画等	防護区画	—		
		開口部の自動閉鎖措置等	—		
		消火剤を付加する開口部面積	—		
		消火剤流出防止措置	—		
		開口部の位置	—		
		消火剤排出措置	—		
		圧力上昇防止措置	—		
		温度低下防止措置	—		
	電源	常用電源	V		
		非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		
	ノズル・ホース等	設置位置	—		
		構造・性能	—		
表示灯・標識		—			
耐震措置	—				
機 能 試 験	防護区画	防護区画			
		圧力調整装置試験			
		容器弁開放装置の作動試験			
		選択弁作動試験			
	制御装置試験	遅延時間	遅延時間		
			非常停止機構作動状況		
			音響警報先行作動状況		
		異常信号試験	自動・手動切替作動状況		
			短絡試験	短絡試験	
				地絡試験	
	警報装置試験	起動装置による作動状況			
		警報鳴動状況			
音量					
音声警報装置作動状況					
自動警報作動状況					

試 験 項 目		種別・容量等の内容	結果		
機 能 試 験	作動試験	附属装置連動試験	作動状況		
			復旧操作状況		
		消火剤排出試験			
		放出表示灯試験			
総 合 試 験	総合作動試験	全域放出方式又は局所放出方式	選択弁作動状況・放出経路		
			通気状況		
			気密状況		
			区画別貯蔵容器開放数		
			音響警報装置作動状況		
			放出表示灯点灯状況		
			附属装置作動状況		
		移動式	移動式作動状況		
		備 考			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 結果の欄には、良否を記入すること。
 4 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
 5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。